

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b><u>30</u></b>

事業所番号	3990800033
法人名	社会福祉法人 清和会
事業所名	グループホーム あんきな家
訪問調査日	平成20年4月21日
評価確定日	平成20年7月24日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3990800033
法人名	社会福祉法人 清和会
事業所名	グループホーム あんきな家
所在地 (電話番号)	高知県土佐清水市加久見1464-279 (電話)0880-82-0022

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年4月21日	評価確定日	平成20年7月24日

## 【情報提供票より】(20年 4月 1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 19年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 7 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 6.9 人	

## (2) 建物概要

建物形態	併設	改築
建物構造	鉄筋コンクリート 2階建ての2階部分	

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000~20,000円	その他の経費(月額)	5,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		

## (4) 利用者の概要(4月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	3 名	要介護4	3 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 85 歳	最低 74 歳	最高 96 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	渭南病院 上田歯科	2
---------	-----------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームの他に、認知症対応型デイサービス、小規模多機能ホームを併設しており、高齢化の進む地域の福祉拠点の役割を担っている。小学校を改造した建物で、居室入口の壁の模様を変えることで、利用者が自室を確認できるように工夫している。また、ほとんどの利用者と職員が地元の人であるため、地域密着型の基本条件がそろっており、日常の会話や行動も自然体で、利用者は安心とゆとりがある安定した生活環境の中で生活している。今後も、これまで以上に「仲良く、楽しく」を大切に生活を持続していくことを期待したい。
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 今回が初めての外部評価である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価は管理者が作成しており、今後は、職員全員で取り組むことが望まれる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 会議は、地区民生委員2名、地区長2名、包括支援センター職員2名、市職員2名、入居者、家族代表2名の構成で、2カ月に1回開催している。ホームや地域の行事案内、活動報告、ホームの運営に関する意見交換など、双方向的な会議となっている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族会はないが、ほとんど毎日会いに来る家族もおり、個々の家族との話し合いは常日頃から行っている。開設して1年目であり、現在のところ苦情はないが、苦情窓口を定め、月1回、家族に電話連絡をするなど、家族の不安への対応には心配りしている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 小学校を改造したホームであるため、卒業生のホーム見学や月1回の学童保育の受け入れなど、地域の子供たちと触れ合うことができる環境にある。地区の行事もホームの敷地を活用して開催しており、地域との連携は保たれている。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 利用者本位のサービスを心掛けている内容だが、事業所独自の理念ではない。  <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 併設の小規模多機能型ホームとの連携で地域と積極的に関わっているが、理念の中に地域密着型サービスについて明確に示されていない。	○	ホームが目指す地域密着型サービスの役割を目指した、独自の理念の策定が望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 職員の名札に理念を印刷しているので、日々の活動の中で常に理念を振り返ることができ、理念を基にした介護のあり方について職員間でも話し合っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 高齢者のペースに合わせた介護を心がけており、理念に基づいた取り組みをしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に加入している。 地区の行事等へ参加するなど、地域との連携に努めている。  <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 ホームとして、地区の行事に参加しており、また、小学校跡地である敷地を活用した交流もしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 管理者のみで作成している。  <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 今回が初めての外部評価である。	○	職員全員で課題を共有し、自己評価に取り組むことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。  2カ月に1回、地区長、民生委員、市職員、包括支援センター職員、家族等が出席して開催し、ホームや地域の行事案内、活動報告、ホームの運営に関する意見交換など、双方向的な会議となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。  今回が初めての外部評価であるが、今回の外部評価の結果は会議へ報告し、改善に向けた取り組みを行う予定である。		
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  ホームの運営などの問合せや連絡だけであり、連携には至っていない。	○	市の担当者等との積極的な交流を期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。  ほぼ毎日会いに来る家族を含め、家族が来訪した時には、利用者の状況などについて話し合っている。遠方の家族にも月1回は電話連絡をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。  家族の来訪時に話をしているが、年間の行事予定などについては、家族にハガキを出している。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。  利用者ごとにし納帳を整理し、家族にし納帳のコピーを送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。  家族会はないが、家族と会う機会が多いので、個々の家族との話し合いは常日頃から行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。  開設して1年目であり、現在のところ苦情はないが、苦情窓口を定め、月1回、家族に電話連絡をするなどの取り組みをしている。また、苦情や意見が出た場合は、毎週行っている管理者会で、その内容や課題を検討し、改善に向けた取り組みをする仕組みを作っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 開設から1年余りであり、現在職員の適性を見ながら育成中とのことで、法人内の異動を度々行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。 職員の異動の際には、一定の引継期間をとっている。	○	利用者や家族との信頼関係を保つためにも、早期に職員の適性を把握し、馴染みの職員が継続的に支える体制を築くことを期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 全職員に研修を実施しているが、内部研修のみである。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 月1回の職員会で報告している。		外部研修も含め、職員の立場、経験や習熟度の段階に応じた研修の機会を計画的に確保し、職員の質の確保、向上に向けた取り組みが期待される。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 同市内に5つのグループホームがあり、今後は、連絡会を組織して互いの情報交換を行う予定であるが、現在は行っていない。	○	市内のグループホームとの交流会に取り組みたいとのことであり、学習会や交流会など地域の同業者との交流が早期に実現することを期待したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 利用者の生活歴等は、入居時に家族や利用者から聞き、個別記録に記載している。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 開所以来新たな入居者はいないが、入居希望者には、見学や体験をしてもらえる体制はできている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 入居希望者には、管理者と職員で面接を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 利用者ができることを見極め、時間を掛けて洗濯物たたみや食事の準備などを行うことにより、利用者も参加できる支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 支援する側、される側という意識を持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 特に食事の場面において、材料の下ごしらえ、配膳、食器洗いなど、互いに協働して生活している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 お餅や饅頭などのおやつ作り、利用者の昔の体験談など、教えてもらったり、聞かせてもらったりする場面がある。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 本人の希望による起床時間の変更や自室での休息など、利用者個人のペースにあわせたホームでの暮らしに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 利用者や家族の要望を介護計画に反映させており、家族の確認もとっている。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 全職員で利用者のモニタリングを行い、意見交換会を開催している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 1か月ごとにモニタリングを行い、3か月ごとに評価を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 それぞれの利用者に応じた計画を設定しており、見直しもそれぞれの状況に応じて実施している。今後は、利用者ごとに担当制を採用し、より細やかなサービスを行う予定である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながらの生活が継続できるように努めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 これまでに事例はないが、実施できる体制ができている。  <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 ふるさと訪問、通院支援など行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人、家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができている。 本人や家族の希望に沿って、入居前のかかりつけ医への受診を行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができている。 家族への連絡は日常的に行っており、個別のファイルにも記録し、保管している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。  重度化や終末期のケアを提供する体制はできているが、これまでに事例はなく、今後、家族、医師、看護師等を交えて話し合いを行っていく予定である。  <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。  重度化や終末期のケアを提供する体制はできているので、本人や家族の意向を踏まえ、今後、医師、看護師等を交えて話し合いを行っていく予定である。	○	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人、家族、かかりつけ医等を交えて話し合いを行う体制を整えることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 職員は地元訛の親しみやすい穏やかな口調で話し掛け、トイレ誘導もさりげなく行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 月1回の職員会で確認している。また、家族から希望があれば、外出の際の写真を広報誌などに出さないように配慮している。  <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 その日の利用者の様子を見て、散歩や買い物に出掛けるように心がけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 朝遅く起きる利用者がいれば本人のペースに合わせ、外出を拒否する利用者がいれば職員がホームに残るなど、柔軟に対応している。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 食事の下ごしらえ、食後の後片づけなど、場面に応じた役割を作り出して進めています。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事介助のみではなく、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 食事中にもさりげない気配りをしながら、職員全員と一緒に食事している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 午前中と午後の2回の時間帯の内、どちらかを利用者が選ぶようにしており、利用者が希望する時間とは言い難い。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴を拒む人に対しては、時間をあけたり、気持ちをほぐしたりして支援している。	○	入浴の時間帯については、事業所の都合で決めるのではなく、利用者や家族の希望に合わせることを望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 日々の暮らしの中や家族からの情報により、何が利用者の役割や楽しみごとになるかを把握するように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 食事のかたづけ、テーブル拭き、洗濯たたみなど、利用者ができることを役割分担し、食事やおやつ作りなど利用者が楽しめる場面づくりにも努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため、職員は働きかけを行っている。 利用者の特性や意向を把握しており、利用者ができる役割、楽しみを引き出すように努めている。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 月1回、食事を兼ねて外出しており、その際、利用者の馴染みの場所等へも立ち寄っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 月1回の外出の時は、車イスやシルバーカーを利用し、利用者全員で散歩や買い物に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 ホーム開設当初は外出の習慣があった人も今は落ち着いており、現在は1人で外出する利用者はほとんどいないが、1階にあるデイサービスや小規模多機能ホームの職員も常に気を付けて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 ホームについて周辺の住民からの理解は得られており、見守りや声掛けなどをしてもらえる関係にある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 避難訓練は行っているが、地域住民の協力を得ながらの取り組みにはなっていない。 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 非常用食料や水の備蓄、災害に備えた備品をホームとして準備はできていない。	○	災害時の避難には、地域住民の協力が欠かせないので、地域住民の参加による避難訓練等を実施するとともに、非常用食料等の備蓄も検討されたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 水分摂取量の記録がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 利用者の好き嫌いを把握しており、希望を取り入れた献立で作りをしている。 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 職員の中に調理師免許を持った者はいるが、栄養士等からのアドバイスは受けていない。	○	高齢者は水分が不足しがちであり、日々の水分摂取量の把握が必要である。利用者の体調変化や摂取状況確認のためにも記録は必要であり、早急な対応が求められる。また、献立等についても、保健師などに依頼して、定期的にチェックをしてもらうことが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 広い共用空間があり、利用者がどこにいてもくつろげるようになっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 利用者の部屋の入り口の模様に変化をつけ、自室が確認できるよう工夫している。 また、小学校を改造した建物であり、小学校時代にあった洗面所をそのまま残すなど、懐かしさを醸し出している。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 台所のカウンターに季節の花の小鉢を飾り、居間には絵を掛けるなど、適度に季節感と五感を刺激する配慮をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 それぞれの居室には家族の写真などを飾り、使い慣れたタンスやイスなども配置されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。		